

令和4年度第1回常滑市教育委員会定例会

令和4年4月15日（金）

午後1時30分

市役所1階会議室A

1 開会 午後1時30分

2 前回定例会会議録の承認

「承認」

3 会議録署名者の承認

「久田孝寛委員」

4 出席委員

藤田幸恵委員、渡辺慶太郎委員、久田孝寛委員、梶田幸司委員、土方宗広教育長

5 欠席委員

なし

6 教育長の報告事項

それでは、教育長の報告事項につきまして、3月3日の定例会以降の教育委員会の主な動きをご報告いたします。

3月8・9日には、市議会定例会の一般質問がありました。教育委員会関連の質問は大きく4つありました。

一つ目は「医療的ケア児の就学先決定までの支援について」、二つ目は「国際芸術祭あいち2022へのボランティアや市民参画事業への募集状況などについて」、三つ目は「児童が利用する施設における定期的なPCR検査の実施について」、四つ目は「ヤングケアラーへの支援策について」でした。

一つ目の「医療的ケア児の就学先決定までの支援について」は、幼保こども園との情報共有、指導主事の園訪問、特別支援学校への見学支援、個別相談などを行った後、市教育支援委員会で審議した結果を保護者へ伝えている。その後、保護者の意向を最優先して就学先を決定していると答弁いたしました。

二つ目の「国際芸術祭あいち2022へのボランティアや市民参画事業への募集状況などについて」は、市として「国際芸術祭関連展示事業補助金」を設けて支援援助していくが、4団体からの応募があった。今後は審査会を行い、それぞれに事業を実施していく。また、「常滑市文化振興事業」を拡大して、芸術祭開催中の市民文化会館の使用料の減免を行う。現在、2件の申請をいただいていると答弁いたしました。

三つ目の「児童が利用する施設における定期的なPCR検査の実施について」は、PCR等の検査は、検査したその時点における感染の有無を確認するだけのものであり、費用負担の面からも、常時感染対策を徹底していくことの方が重要である。定期的な検査を行う予定はないと答弁しました。

四つ目の「ヤングケアラーの把握と支援策について」では、ヤングケアラーの疑いのある児童生徒はいると考えており、疑いのある児童生徒を把握するため、定期的にアンケート調査することを考えていきたい。また、該当する児童生徒を把握した際は、学校等との関係機関と連携しながら支援していくと答弁いたしました。

10日と17日の予算委員会では、それぞれ3月補正予算案と令和4年度一般会計予算案が審議され、24日の本会議におきまして原案通り可決され、教育関係予算につきましても認めていただきました。

また、24日午後の協議会におきましては、「中学校制服のブレザー化」についてすでに決定したことと今後の予定について報告をさせていただきました。翌25日には新聞記事にも掲載されました。

31日の教職員退職辞令伝達式では、退職者12名のうち9名が出席され、辞令伝達を行いました。その後、退職されるお一人お一人に、教員生活の思い出や今後の抱負などをお話ししていただきました。中には2年で退職される教員もいましたが、すでに新たな夢に向かって教員とは別の道を歩み始めており、さらなる飛躍を祈るばかりでした。

年度が変わり、4月1日の教職員発令通知書及び受入式では、コロナ禍ではありますが、規模を縮小することなく実施いたしました。今年度、常滑市に着任した新任教職員は計24名でした。若さを生かし、常に笑顔で子どもたちに向き合ってほしいと思います。

4日には臨時校長会議と臨時教頭会議を開催し、教育委員会より所管事項を伝達し、共通理解を図りました。特にコミュニティ・スクールのスタートとなる年度でありますので、学校と教育委員会が一枚岩となって、よりよい教育の推進をしていくことを確認いたしました。

同日午後に行われました知多地方教育事務協議会におきましては、今年度の会長が東浦町教育委員会の水野善久委員が選出され、今年度の知教協が行う事業計画や学校訪問などについて協議いたしました。

なお、知多教育事務所の所長は、新しく野田隆之さんが着任されました。稲沢市出身で、昨年度は愛知県教育委員会義務教育課の課長補佐としてご活躍されていた方あります。前所長の水谷政名さんは、愛知県教育委員会義務教育課の課長として異動いたしました。

13日には、瀬戸市にて、今年度、第1回の尾張部都市教育長協議会が開催されました。県教育委員会の事務局長と教職員課、多文化共生推進室から連絡依頼事項がありましたが、この中で、特に、県立高校附属中学校が2025年度から県内4校でスタートすることについては、どの教育長も関心が高く、附属中学校で授業を行う先生は現在の小中学校に勤務する先生なのか高校に勤務する先生なのかといった質問や要望などが多く出されました。まだまだ検討課題が多く、今後の検討委員会の動向に注視していきたいと思います。

その他、防災訓練、私立高校の授業料補助事業の有無、タブレット端末の更新内容、学校における生理用品の設置や提供の4つを議題として情報交換を行いました。

以上、本日に至るまでのご報告をさせていただきました。なお、本日の定例会は、1つの議案と5つの報告が予定されております。よろしくお願いいたします。

7 議題 付議事件

議案第1号 令和4年度常滑市立中学校部活動指導員の委嘱について

生涯学習スポーツ課長：資料に基づき説明。

教育長：何かご質問ございませんか。

委員：昨年度策定した教育大綱の中に学校の教育目標で部活動の外部指導員の充実をするという話が出ておりますが、今回の議案を確認しますと例年通りの方で新規の方はいないと思います。今年度の流れとして今後、指導員の数が増えるのか、このままの人数で推移していくのかどうなっていくのでしょうか。学校から要望がないようであれば、特に必要はありませんが、教育目標の中で部活動を充実していくことを謳っておりますので、そのあたりはどうなのでしょう。

生涯学習スポーツ課長：学校からの要望がありましたら、それに答えるといった形が望ましいと思います。今回の常滑中学校の水泳部につきましても、より良い形で支援ができるようにお互いに方法を模索してきました。今後の部活動の取り組みは、縮小傾向にありますが、その中で部活動をどうやって活性化していくのかといった矛盾もあります。部活動の一番の狙いは中学生にしっかりと運動してもらうことだと思います。部活動が担ってきたことを今後は地域が担っていく形にしていくべきだと考えます。この制度を生かしつつ、国の動き、他市町の状況を踏まえながら今後の方針の検討を始めたところです。現時点では、部活動を充実するといった結果は乏しいですが、充実に向かって検討をしているところです。

教育長：部活動につきましても、充実と効率といったところがあります。私が鬼崎中学校にいたときの柔道部の例ですが、顧問の先生と外部指導者の二手に分かれて指導を行うことによって、短い時間で効率よく指導をすることができておりました。極端な例ですが、急遽、顧問に諸事情があり、練習時間に同席できなくなった場合は、本来であれば、部活動が中止になりますが、校長が練習に同席し、外部指導の先生が指導をしたといったこともありました。このような対応も考えられ、部活動を中止にしなくても済むようなこともできます。外部指導員は、非常によい制度ですが、なかなか指導者がいないのが現状です。

教育長：他にご質問ございませんか。

委員全員：ありません。

教育長：お認めいただけますでしょうか。

委員全員：異議なし。

「可決」

報告第1号 令和4年度新入学児童・生徒の教育措置状況について

学校教育課付課長：資料に基づき説明。

教育長：何かご質問ございませんか。

委員全員：ありません。

「承認」

報告第2号 令和3年度常滑市教育委員会下半期後援事業（10月～3月受付分）
について

生涯学習スポーツ課長：資料に基づき説明。

教育長：何かご質問ございませんか。

委員全員：ありません。

「承認」

報告第3号 第65回常滑市美術展の開催について

生涯学習スポーツ課長：資料に基づき説明。

教育長：何かご質問ございませんか。

委員：昨年は、緊急事態宣言が搬入の際に発出されてしまい、少しトラブル
がありましたが、今年度は何とか開催できそうですので、ぜひお越し
ください。

教育長：緊急事態宣言が発出された場合やまん延防止措置等が出た場合はどう
なりますか。

生涯学習スポーツ課長：緊急事態宣言が出た場合は、開催できませんが、基本
的に文化会館が開館している場合は、開催します。

教育長：他にご質問ございませんか。

委員全員：ありません。

「承認」

報告第4号 第33回歩こまいとこなめふれあいウォーク2022の結果について

生涯学習スポーツ課長：資料に基づき説明。

教育長：何かご質問ございませんか。

委員全員：ありません。

「承認」

報告第5号 新学校給食共同調理場整備事業DB（設計・建設）公募型プロポー
ザルの審査結果について

学校教育課長：資料に基づき説明。

教育長：何かご質問ございませんか。

委員：この案件につきましては、非常に高額の案件であり、重要な審査であ

ります。審査委員会は、非常に高い専門性や公平性が求められる審査であります。審査委員会の人選はどのようにしているのでしょうか。

学校教育課長：審査委員会の委員につきましては、まず、名古屋都市センター長の奥野信宏氏であります。この方は、給食センター建設のプロポーザルを各地で行っております。また、その他の公共施設のプロポーザルも数多く行っており、実績も十分でありますので、この方に座長を務めていただきました。次に、愛知県住宅供給公社から横井博幸氏を選出しております。愛知県住宅供給公社は、南知多町の給食センターの施工管理や常滑市役所新庁舎建設にも携わっております。その他には、実情を知っている栄養教諭、市の財政を鑑みる総務部長、市の公共施設に携わる施設マネジメント課長、そして教育部長の計6名で構成されております。それぞれ審査項目がありますので、それに基づき客観的に審査をさせていただきました。

教育長：他にご質問ございませんか。

委員全員：ありません。

「承認」

8 その他（諸報告について）

- ・教育委員（会）行事連絡（4月～6月）
- ・会議資料の事前配布方法の見直しについて

これまで事前配布方法は各教育委員の自宅等に持参していたが、今後は郵送またはメールにより事前配布を行うことを事務局より提案した。

結果、今後は渡辺委員、久田委員は郵送、藤田委員、梶田委員はメールでの配布となった。

「了承」

9 閉会

午後2時29分